

# SiEN



冬号



←昨秋のなぎの清里一泊旅行にて。今年もわくわくすることがたくさんありますように!!

## 一年経つて思うこと

### 地域活動支援センター なぎ

精神保健福祉士・相談支援専門員 松本佳与

秋になるちょっと前の夕方、なぎで「虹が出ていますよ!」という声がありました。

利用者さんみんな外へ出ると、きれいな虹が色鮮やかにくっきり出ていました。

色が何種類も重なって引き立てられている虹。ささやかなひと時でしたが、とても印象に残る出来事でした。そんな時、自然とみんなで感動を共有している自分がいて、なぎに来て一年経ったのだなと感じました。

「虹は色が数種類重なっている。個々の色が一緒に連動して成り立っている」といいます。

私たちもそうだなと思います。多様性があった一つの社会。人種や性別、年齢、宗教など特性を活かして連動して生きている。決して一つではない、個人にもそれぞれ一つの言葉では言い表せない多様性があります。だから面白い。文化をつくっているのだと思います。

朝起きて、川沿いを走っています。色々な人に出会います。同じ人でも日によっては表情や様子が違い、風の受け止め方も個々に違います。

皆が同じ支援を望んでいるわけではなく、その人なりの理由があり、考えがある、人生がある、その気持ちをも真正面から感じたいと思っています。そして、風の受け止め方を一緒に考えたい。

支援と人の大切な思いをつなげる、虹のような架け橋になりたいと思っています。